

- ・今回のことでの新聞社はとても大変だと思いました。なぜなら、うそのことかいてはいけないので、ちゃんときしゃさんにきかないといけないからです。
- ・神戸新聞の人にいろいろなことを聞かしてもらって思ったことは、青森の地震の時は通信社の人々にどんな様子だったかとかを聞いて、もうすぐで印刷って時にぎりぎりで間に合わせて、どれだけ新聞を見る人に伝えたいのかという気持ちがよくわかって、どれだけ全力かどうかがよく伝わってきてすごいと思いました。
- ・今回新聞社の三好さんからお話を聞いたり、教科書を読んで私が思ったことは、印刷する時は1時間に18万字以上しているということがすごいなと思いました。
- ・今回新聞社の方のおはなしを聞いて、新聞の作り方とかを知ることができました。最初からチェックをしたり、本社とかと紙面をどんな感じにするか話し合ったり、最終チェックで情報があるかを確認したり、漢字の間違いないかを確認したりしているところがすごいと思いました。ほかにも空いているところに季節のことも書かれていてすごいと思いました。
- ・三好さんの授業でとてもいろいろな記事をしりました。そして新聞からさがしたりするのもとても楽しかったなと思いました。僕の知らない事件やひともでてきたりしたのでよかったですとおもいました。
- ・僕は今回の新聞社の方の三好さんのお話を聞いて、とても授業につながることを教えていただいてとても良かったです。教科書には載っていないかったことなどをたくさん教えていただいたので、とても良かったです。それにとてもやさしいし、親しみがあったので、とてもせっしやすかったです。新聞を作るためにはこんなに苦労してるんだと思ったし、楽しみながらお話を聞いて良かったです。今度新聞を見る機会があったら、出前授業で三好さんに聞いたことを、思い出しながらみたいです。

・僕は今回新聞社の方の三好さんの話を聞いて、どのように新聞を作っているかや、どんなことを報道しているかを知ることができました。ぼくは今回の出前授業で、知ったことは、新聞には頭や肩があって、頭に一番伝えたいことを載せているということが分かりました。ほかには、新聞の1面に、一番伝えたい重要な内容を載せていることが分かりました。ほかに新聞にはいろいろな数字で詳しくして載せられていることが分かりました。ほかには、ニュースを報道するうえではいけないと、大切なことを知りました。ニュースを報道するときは、特にインターネットは、事実ではない情報を発信してはだめだということを知れました。ほかにフェイクニュースを流されて、困っている人もいるんだとわかりました。

・私は最初、新聞なんて最近の人たちにはほとんど縁のないものとしか思っていませんでした。ですがいざ実際に神戸新聞の方の話を聞いてみると、テレビとは違った部分で自分たちが知りたいことをまとめていたり、テレビだと聞き逃してしまうことも新聞ではよくわかったので素晴らしいなと思いました。それと新聞記者は取材に来ただけで有名人に会えるなんて羨ましいなと思いました。

・私は、新聞社の方に来ていただいて、新聞社の仕事について詳しく知ることができたと思います。例えば動画での解説・スライドを使った説明で、新聞社の仕事の大変さが伝わってきて、「これだけ新聞社の人たちが苦労しているのだから、みんな信用できるな」と思いました。

・私は最初、新聞の並び方について「どう並べているのかなあ」と思っていました。けど、三好さんに教えてもらってから並び方には意味があるんだと思いました。本当の新聞会社さんに来てもらって、教えてもらってすごくよかったです。

・僕が、三好さんに話を聞きました。三好さんが最初に言った「この新聞の中で一番大きい金額を見つけてください」とさらっと言いました。そして、その言葉が僕には、新聞の見つけやすさを強調しているように聞こえました。それが、とても印象に残っています。

・金曜日に神戸新聞三好さんに話を聞きました。いろいろ記事のことを知れて面白かったです。そして新聞のことについてよく知れました。

・僕は、神戸新聞社の方に来てもらっていましたいろいろなことを学びました。新聞がなければ本当の情報を知れなかったりインターネットを信じない方もいるのに新聞は信じられるので新聞はとても大事だと思いました。それと、新聞を作る時にその夜できたニュースをあまりいらない写真を消して新しいニュースをのせることが心に残りました。

・僕は、この授業で、新聞社の構造や、短い時間でも大きなニュースなどをのせていることが分かったり、新聞の会社によってのせている記事や内容が違うということもよくわかりました。

・私が、この授業で知ったことは、たとえ期限が3分ほどでも、うまく書き上げているということです。期限が少しでも書き上げていると聞いたときは、とても驚きました。もっと話してほしかったけど、自分でもしっかり調べます！ 新聞を読みながらの出前授業は、とても新鮮で、とても楽しかったです。新聞の配置とかも（カタとか）楽しかったです。三好さんありがとうございました。

・私が、お話を聞いてびっくりしたことがあります。毎日、違う情報を出したり会議をして印刷までして確認していることです。

・私は、この授業で分かったことがあります。それは、新聞を作るときにはたくさんの人たちで作っていることです。

私は今まで少ない人数で作っているのかな？と思っていました。
ですが、授業を受けたらたくさんの人数で作っていることが分かりました。

三好さんの話を聞いて私は、頑張って作っていただいているのに私たちはその苦労を知らないで使っていたんだなと感じました。

・新聞はたくさんの工夫があって信頼度も高い。朝とかに届いたニュースを速報させるのは、する新聞会社としない新聞会社がいるのを知ってそれぞれ違うニュースが届けられるんだなと思いました。

・三好さんの話を聞いてて、震災のことなどもどのように新聞に書いているかも知れたり、見出しなどどんな位置に置いているかなども詳しく教えてくれて、詳しく知ることができました。そして、新聞を作るときはたくさんの人数で話し合って、分担分けしてたくさんの人たちで作っていることがわかりました。そして、大事なニュースは一番最初のところに大きく表示されることもしました。

・新聞社の三好さんから自分がまだ知らないことをたくさん聞きました。自分は新聞をあまり読んだことがなかったので新聞を見てテレビではあまり見ない見出しもありました。三好さんから聞いたことで一部言うと新聞は1時間に18万部くらい印刷したり、そのほかにも貴重な情報を聞きました。新聞のことを詳しく知れて新聞に興味を持つことができました。

・私は、出前授業で今まで知らなかった新聞の読み方やコラムについて知ることが出来ました。実際に新聞を読みながらお話を聞くことでとても内容が頭に入ってきて楽しかったです。また、文章を書くときに大切なことも教えてくれたのでこれからの生活に生かしていきたいです。そして、新聞でニュースを読んだりして、新聞記者の皆さんのように文章を書くのがうまくなりたいです。

・僕は、新聞紙を作っている人に来てくれて、お話を聞いた時聞いて大切だと思ったことは、新聞よりネットサイトは、嘘が多いことです。

後、ほぼ同じだけど、ネットサイトより新聞のほうが詳しいことがわかるし、本当のことが書いてあるからです。

また、しんぶんについて、もっと知りたいです。

・私は、この前出前授業を受けました。私はデスクのチェックや編集会議などを一日で終わらし毎日違う記事の新聞を出していることに一番びっくりしました。話を聞いてるとある疑問をだきました。それはいつ取材しているのかということです。毎日新聞を作っていて時間がないはずなのに毎日違う記事を出すことがどうしたらできるのか知りたくなりました。他にも新聞のことについて詳しく教えてもらいました。知らなかったこともたくさん知れていい体験になりました。

・僕は、この新聞社の記者の三好さんが来た時のお話を聞いて一番大切なと思ったことは記事を書くときに必要な 6 つです。どれもなからたら記事が書けないし新聞も送れないからです。だから僕は前の単元でもやったジャストインタイムだと思いました。理由は新聞を直接もらう人とかにも迷惑がかかるし、新聞を作るとか全部に影響が行くからです。そして僕は絶対インターネットとかは嘘が多いから大体は新聞を見てみようと思いました。

・新聞の出前授業をしてもらって、社会の授業での内容をより深く知りました！ 楽しみながら授業してもらって、とても詳しく知りました。あと、クイズが途中でてきて、それにちなんだ曲とか流れて、より理解できました！